

2026 年 1 月 8 日

各位

エンデバー・ユナイテッド株式会社

弊社メンバーによる書籍執筆に関するお知らせ

弊社のディレクター成田、シニアヴァイスプレジデント加嶋、及びヴァイスプレジデント朽名が、日本バイアウト研究所より発刊された書籍(「続・機関投資家のためのプライベート・エクイティ」)において、弊社投資先の ESG 活動推進事例として、株式会社 WAKAMATSU 及び株式会社イエリスタホールディングスについての記事を執筆しましたので、お知らせいたします。

<WAKAMATSU の概要>

会社名: 株式会社 WAKAMATSU
代表者: 代表取締役社長 若松 東克
事業内容: 理容・美容室経営
所在地: 大阪市西区南堀江 1-18-4 Osaka Metro 南堀江ビル 2F
URL: <https://www.waka-matsu.jp/>

<イエリスタホールディングスの概要>

会社名: 株式会社イエリスタホールディングス
代表者: 代表取締役社長 木部 浩一
事業内容: 総合不動産グループの統括会社
所在地: 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-3-1 KDX 横浜みなとみらいタワー7 階
URL: <https://ierista-hd.co.jp/>

<掲載書籍>

「続・機関投資家のためのプライベート・エクイティ」

以上

待望の続編！

『続・機関投資家のためのプライベート・エクイティ』

本書の特徴

この10年間で大きく発展した日本のプライベート・エクイティの実務をまとめた専門書。発展が期待されるGP主導型セカンダリー取引、共同投資（co-investment）、HoldCo ファイナンスなどの手法も解説。インタビューや座談会も盛り込み、さらなる市場発展に向けた課題や将来展望についてのメッセージも発信。2013年に刊行した『機関投資家のためのプライベート・エクイティ』、2014年に刊行した『年金基金のためのプライベート・エクイティ』の待望の続編。大手銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、証券会社、保険会社などの金融機関はもとより、年金基金、学校法人・大学基金、ファミリーオフィスなどの運用担当者にも必読の書。

続・機関投資家のための

プライベート・エクイティ

Private Equity

日本バイアウト研究所 編

待望の続編！

この10年間で大きく発展した日本のプライベート・エクイティの実務をまとめた専門書。大手銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、証券会社、保険会社などの金融機関はもとより、年金基金、学校法人・大学基金、ファミリーオフィスなどの運用担当者にも必読の書。

一般社団法人 金融財政事情研究会

<新刊>

続・機関投資家のための プライベート・エクイティ

日本バイアウト研究所／編

刊行日：2025年12月下旬予定

仕様：A5判・約480頁・上製

定価：4,180円（税込）

発行所：金融財政事情研究会

主な読者層

- ・大手金融機関（大手銀行、信託銀行、証券会社、保険会社、リース会社、その他）のLP投資担当者、LBOファイナンス担当者
- ・地域金融機関（地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、その他）の資金証券部（市場金融部）、ストラクチャード・ファイナンス部、審査部、リスク統括部、総合企画部、法人営業部
- ・年金基金（公的年金・共済組合、企業年金基金）の運用担当者
- ・大学基金（国立大学法人、学校法人）の運用担当者
- ・ファミリーオフィス、プライベート・バンキング担当者、ウェルス・マネジメント担当者
- ・ゲートキーパー、アセットマネジメント会社、プレースメント・エージェンツ
- ・プライベート・エクイティ・ファーム（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、ファンド・オブ・ファンズ、セカンダリー、プライベート・デット、その他）
- ・M&Aアドバイザリー・ファーム
- ・人材エージェンツ・格付機関
- ・弁護士、会計士、税理士

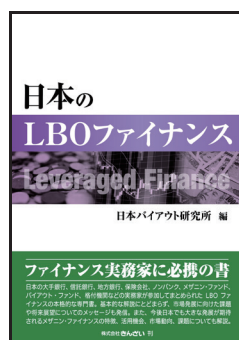
<既刊>



**機関投資家のための
プライベート・エクイティ**
編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2013年2月14日
仕様：A5判・464頁・上製
定価：3,960円（税込）
発行所：きんざい



**年金基金のための
プライベート・エクイティ**
編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2014年10月14日
仕様：A5判・352頁・上製
定価：3,630円（税込）
発行所：きんざい



**日本の
LBOファイナンス**
編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2017年12月19日
仕様：A5判・416頁・上製
定価：3,960円（税込）
発行所：きんざい



**プライベート・エクイティ
とESG**
編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2021年12月28日
仕様：A5判・344頁・上製
定価：3,960円（税込）
発行所：きんざい

本書は一般の書店にてお求め頂けます。

『続・機関投資家のためのプライベート・エクイティ』目次

第Ⅰ部 プライベート・エクイティ投資戦略の発展

第1章 急成長を遂げるプライベート投資の全体像 ―戦略の多様化と市場の発展に至る背景の概観―

(執筆: アセットマネジメントOne オルタナティブインベストメンツ株式会社 取締役 プライベート投資部長 投資責任者 齋藤大彰)

(執筆: アセットマネジメントOne オルタナティブインベストメンツ株式会社 プライベート投資部 副投資責任者 松島光太)

第2章 プライベート・エクイティ市場におけるセカンダリー取引の進化と役割

―流動化手法から戦略的ツールへの発展と今後の日本市場―

(執筆: WM パートナーズ株式会社 パートナー 鈴木祥平)

(執筆: エー・アイ・キャピタル株式会社 マネージング・ディレクター 中浜優一)

(執筆: エー・アイ・キャピタル株式会社 マネージング・ディレクター 安藤寛章)

第3章 GP 主導型セカンダリー取引の実務と日本市場の展望 ―歴史的変遷と継続ファンドのプロセスの特徴―

(執筆: Bee Alternatives Limited Founding Partner 乙訓史樹)

(執筆: Bee Alternatives Limited Founding Partner 井野口敦彦)

(執筆: Bee Alternatives Limited Investment Partner 西田昌平)

第4章 グローバルな共同投資の動向と日本の市場機会 ―分散化されたミドル・マーケット・ポートフォリオの優位性―

(執筆: キャピタル・ダイナミックス株式会社 シニア・マネージング・ディレクター デイビッド・スミス)

(執筆: キャピタル・ダイナミックス株式会社 プリンシパル 寺竹成史)

第5章 日本のプライベート・エクイティ・ファンドの法務の新展開

―グローバル・スタンダードに近づく契約実務と取引手法の進化―

(執筆: 長島・大野・常松法律事務所 弁護士 清水啓子)

(執筆: 長島・大野・常松法律事務所 弁護士 鈴木謙輔)

(執筆: 長島・大野・常松法律事務所 弁護士 糸川貴視)

第Ⅱ部 日本の機関投資家とプライベート・エクイティ

第6章 日本の機関投資家によるプライベート・エクイティへの取り組みの動向

―学校法人を含む新たな層の運用対象の拡大に向けた展望と課題―

(執筆: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一)

第7章 機関投資家におけるプライベート・エクイティ投資の現状と展望 ―ポートフォリオ構築と管理の実践―

(執筆: アーク東短オルタナティブ株式会社 投資顧問部 営業グループ長 シニア・ヴァイス・プレジデント 川内洋一)

(執筆: アーク東短オルタナティブ株式会社 投資顧問部 プロダクトグループ長 ヴァイス・プレジデント 大橋拓郎)

(執筆: アーク東短オルタナティブ株式会社 投資顧問部 業務グループ長 ヴァイス・プレジデント 大津智香)

第8章 プライベート投資を開始する日本の機関投資家が直面する課題の概観とソリューション

―多様なストラクチャーを通じた取り組みの拡大―

(執筆: アセットマネジメントOne オルタナティブインベストメンツ株式会社 プライベート投資業務部 副部長 谷津辰典)

(執筆: アセットマネジメントOne 株式会社 商品本部 商品戦略部兼商品開発部 マネジャー 石川剛之)

第Ⅲ部 日本のバイアウト・ファンドの投資活動の新潮流

第9章 上場企業の非上場化を伴う案件へのアプローチ ―日本型バイアウトとしての進化への道―

(執筆: 株式会社 KPMG FAS パートナー 篠原暁)

(執筆: 株式会社 KPMG FAS マネージングディレクター 横倉淳史)

第10章 日本のバイアウト・ファンドのバリューアップ手法の新潮流

―中堅企業のデジタル・トランスフォーメーションとサステナビリティ―

(執筆: 株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 吉野恭平)

(執筆: 株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 渡辺麻紀子)

(執筆: 株式会社 KPMG FAS マネージングディレクター 津金俊宏)

第11章 中堅企業におけるデジタル・トランスフォーメーションの推進と実践 ―アントレとデザインワードの事例―

(執筆: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 AI・DX 支援室 室長 ディレクター 石川陽一)

(執筆: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 AI・DX 支援室 エキスパート 須賀正明)

(執筆: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 AI・DX 支援室 エキスパート 大森晃太郎)

第12章 企業価値向上支援機能「i-Engine」によるサステナビリティ経営支援

—キタムラ・ホールディングスとプリモグローバルホールディングスの事例—

(執筆者: インテグラル株式会社 パートナー 二井矢聡子)

(執筆者: インテグラル株式会社 ディレクター 伊藤大亮)

(執筆者: インテグラル株式会社 ヴァイスプレジデント 木元章雅)

第13章 投資先企業の経営課題に立脚したパイアウト・ファンドのESG活動の推進

—WAKAMATSUとイエリスタホールディングスの事例—

(執筆者: エンデバー・ユナイテッド株式会社 ディレクター 成田修平)

(執筆者: エンデバー・ユナイテッド株式会社 シニアヴァイスプレジデント 加嶋諒)

(執筆者: エンデバー・ユナイテッド株式会社 ヴァイスプレジデント 朽名和俊)

第IV部 課題と将来展望

第14章 プライベート・エクイティ領域の日本版EMPの概要と展望

—新興ファンド・マネジャーのデューデリジェンスの実務—

(執筆者: エー・アイ・キャピタル株式会社 ディレクター 黒島慶太)

第15章 日本におけるミッドキャップのパイアウト・ファンドの将来展望

—良質な分散ポートフォリオの構築に向けたキーポイントと課題—

(執筆者: 株式会社日本パイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一)

インタビュー

《インタビュー①》

海外の機関投資家によるプライベート・エクイティへの取り組み

～ボトムアップ・アプローチに基づく意思決定から学ぶ日本への示唆～

(インタビュー先: サンライズキャピタル株式会社 マネージングディレクター 桑木翔太氏)

《インタビュー②》

企業年金基金によるプライベート・エクイティへの取り組み

～ポートフォリオ全体のリターンドライバーの役割を果たす資産クラス～

(インタビュー先: 大和ハウス工業企業年金基金 運用執行理事 山根透氏)

《インタビュー③》

学校法人の資産運用におけるプライベート・エクイティへの取り組み

～長期のリスク資産を中心とするポートフォリオの構築～

(インタビュー先: 学校法人国際基督教大学 理事長特別補佐・基金担当理事 新井亮一氏)

《インタビュー④》

日本のプライベート・エクイティ・ファンドの新たな投資家層

～ファミリーオフィスと富裕層個人の資産運用の対象としての可能性の考察～

(インタビュー先: 株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 浅尾兼平氏)

《インタビュー⑤》

組織の拡充を目指すLP投資家・ゲートキーパーの体制強化

～プロフェッショナル志向を強める若手人材の活躍の機会の創出に向けて～

(インタビュー先: アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 取締役 山本恵亮氏)

(インタビュー先: アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 コンサルタント 岡田真奈氏)

《インタビュー⑥》

投資家とファンド・マネジャーをつなぐゲートキーパーの仕事の魅力

～最先端の知と出会う触媒と全体を俯瞰する羅針盤の役割～

(インタビュー先: エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 チーフ・インベストメント・オフィサー 佐村礼二郎氏)

座談会 日本のパイアウト市場におけるミッドキャップ領域の優位性

—良質な案件のソーシングと分散ポートフォリオの構築を目指して—

(討論者: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 パートナー 野呂瀬和樹氏)

(討論者: インテグラル株式会社 パートナー 山崎壯氏)

(討論者: 株式会社マーキュリアインベストメント マネージング・ディレクター 江島陽一氏)

(司会者: アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 シニアディレクター 林徹氏)
